本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIO

ELオートライト機能／ストップウオッチ／アラーム

1464

取扱説明書

1464

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。
末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。
なお、この説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。
本機のお取り扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることは一切ありません。本機の特長、機能を十分に使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでお試しください。

安全上のご注意

絵表示について

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。（左の例は感電注意）

⃠記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。（左の例は分解禁止）

●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。
※本機はダイバーズウオッチではありません。
誤って使用すると、事故の原因となることがあります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して下さい。

⚠注意

お手入れについて

本体やバンドは吸湿性のよい柔らかい布でふいて、いつも清潔にしてご使用ください。汚れたままにしておくと、変色や破損、皮膚のかぶれの原因となります。
万一、本機使用により皮膚がかぶれたときは、そのバンドの使用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

ステンレス製のバンドの場合、汚れからサビが発生し、衣服の袖を汚すことがあります。

分解しないでください

本機を分解しないでください。本機が故障したり、ケガをする原因となることがあります。



オートライト作動時のご使用について

登山やハイキングなどで、暗く足元の不安定な場所で、歩きながら時計を見ることは危険ですのでおやめください。転倒やけがの原因となることがあります。

夜間、道路でマラソンやジョギングをしながら時計を見ることは危険ですのでおやめください。転倒、交通事故の原因となることがあります。

夜間、自転車やバイクなどを運転しながら時計を見ることは危険ですのでおやめください。転倒、交通事故の原因となることがあります。

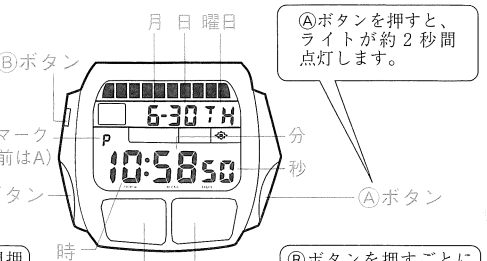
オートライト作動状態のとき、本機を腕につけて自動車などを運転すると、不用意にライトが点灯し、運転の妨げになり危険ですのでおやめください。交通事故の原因となることがあります。

操作のしくみと表示の見方

Ⓒボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順で表示が切り替わります。

時刻・カレンダーモード

曜日の見方	
SU	日
MO	月
TU	火
WE	水
TH	木
FR	金
SA	土



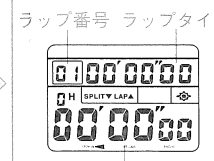
Ⓐボタンを押すと、ライトが約2秒間点灯します。

Ⓛボタンを約1秒間押すごとにオートライトON(◈点灯)／OFFが切り替わります。

Ⓡボタンを押すごとに12時間制表示（午前／午後）と24時間制表示とが切り替わります。

ストップウオッチモード

1/100秒単位で9時間59分59秒99まで計測できます。



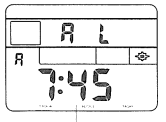
リコールモード

ストップウオッチモードで計測したタイムを見ることができます。



アラームモード

アラーム時刻・時報セットができます。



時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻やカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。
なお、月に1度くらい秒合わせをしていただくと、時刻はいつも正確です。

準備：セット表示にする

時刻・カレンダーモードのときに、

Ⓑボタンを押します

→「秒」が点滅します。

★このとき、もう1度Ⓑボタンを押すと点滅が止まります。
★点滅表示のまま、2～3分経過すると自動的に点滅が止まります。

＜セット表示＞



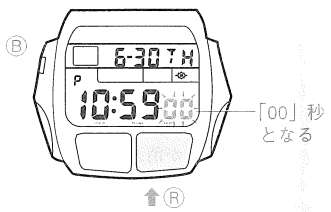
●秒のセット…±30秒以内の遅れ／進みの調整

「秒」が点滅しているとき、

時報に合わせてⓇボタンを押します

秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分くりあがって「00」秒になります。
※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。

★秒合わせ後、Ⓑボタンを押すと点滅が止まります。

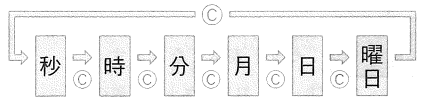


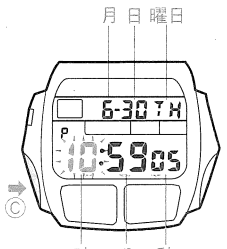
●時・分・月・日・曜日のセット

(1)「セット表示」のときに、

Ⓒボタンを押します

Ⓒボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。





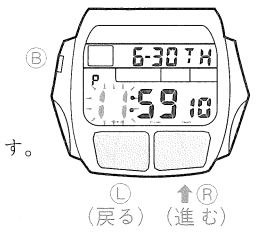
(2) 数値セット

セットしたい箇所が点滅しているとき、

ⓇまたはⓁボタンを押します

→Ⓡボタンを押すごとに数字が進み、
Ⓛボタンを押すごとに数字が戻ります。
いずれも押し続けると早く進み（戻り）ます。

(1)～(2)の操作をくりかえし、時・分・月・日・曜日をそれぞれ合わせます。



★「時」セットのとき、午前(A)/午後(P)または24時間制にご注意ください。
★カレンダーは大の月、小の月を自動判別するオートカレンダーですので、電池交換時およびうるう年以外は直す必要はありません。
(3)すべてのセット終了後、Ⓑボタンを押すと点滅が止まります。
※点滅表示のまま、2～3分経過すると自動的に点滅が止まります。

アラーム・時報の使い方（時刻・カレンダーモードのときにⒸボタンを3回押してアラームモードにします。）

アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間の電子音で知らせます。また、毎正時（00分）に時報を鳴らすこともできます。

●アラーム時刻のセットのしかた

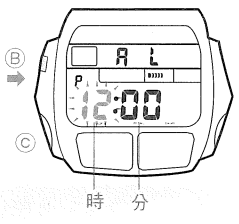
(1) セット表示にする

アラームモードのときに、

Ⓑボタンを押します

→アラーム時刻の「時」が点滅し、
“ ▮▮▮▮ ”が点灯します。

★このとき、Ⓒボタンを押すごとに点滅箇所が「時」と「分」を移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。

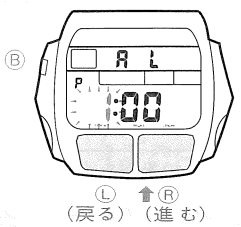


(2) 数値セット

セットしたい箇所が点滅しているとき

ⓇまたはⓁボタンを押します

→Ⓡボタンを押すごとに数字が進み、
Ⓛボタンを押すごとに数字が戻ります。
いずれも押し続けると早く進み（戻り）ます。



★「時」のセットのとき午前（A）／午後（P）にご注意ください。
★基本時刻を24時間制表示にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制表示となります。

(3) セットが終わりましたら、

Ⓑボタンを押します→点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま、2～3分経過すると自動的に点滅が止まります。

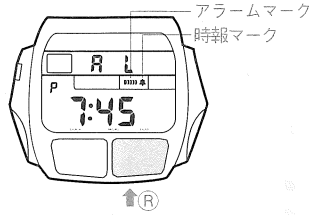
●アラーム・時報のON/OFF設定

～アラーム・時報を鳴らしたいとき／鳴らしたくないときの設定方法～

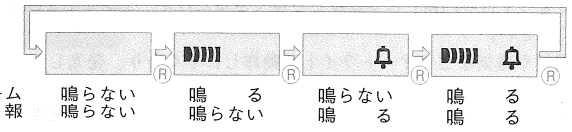
アラームモードのときに、

Ⓡボタンを押します

→Ⓡボタンを押すごとにアラームマーク（ ▮▮▮▮ ）と時報マーク（ 🔔 ）が点灯／不点灯をくりかえします。



★アラームを鳴らしたいときは“ ▮▮▮▮ ”、時報を鳴らしたいときは“ 🔔 ”を点灯させます。それぞれのマークを消しておくと、アラーム/時報は鳴りません。



●鳴っている電子音を止めるには

ⒶまたはⒸボタンを押します。

●モニターアラーム

アラームモードのときにⓁボタンを押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

ご使用上の注意

防水性

●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

※BARは気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※専門的な潜水＝スキューバダイビング（アクアラング）でのご使用はお避けください。

●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。
防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

●防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。
●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
●防水性を保つために定期的（2～3年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。
●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。（特殊な治具を必要とします）
●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事、水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

バンド

●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。
●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

温度

●自動車ダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり止まったりすることがあります。
●＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

ショック

●通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると故障の原因となります。

磁気

●時計機能には影響ありません。ただし、本機自体が磁気を帯びたり、強い磁気を発するものの近くで使用すると、オートライトが作動しにくくなることがあります。

薬品類

●水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

保管

●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■お手入れについて

お手入れのしかた

●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
●金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

お手入れを怠ると

●「サビ」
・ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
・表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。
●「劣化」
・樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。
●「かぶれ」
・皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。
・特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れするか、金属バンドのご使用をおすすめします。

■電池交換について

最初の電池

●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。なお電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

消耗

●電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

電池交換

●電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申しつけください。
●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
●電池交換の際、防水検査を行ないます。（防水検査は別途有料となります）

■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオサービスセンターに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

■ELパネル（表示照明部）の交換について

表示照明用として使用しているELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見えることがあります。このようなときにはお買い上げ店またはカシオサービスセンターに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

製品仕様

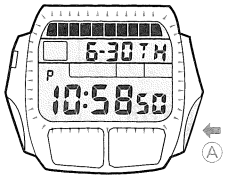
水晶発振周波数：32,768Hz
常温携帯精度：平均月差±15秒以内
基本機能：時刻表示～時・分・秒、午前(A)／午後(P)／24時間制表示
カレンダー表示～月・日・曜日、オートカレンダー
ストップウオッチ機能：ラップタイム（上段）
計測単位＝1/100秒　計測範囲＝59分59秒99（60分計）
スプリットタイム（下段）
計測単位＝1/100秒　計測範囲＝9時間59分59秒99（10時間計）
計測機能＝通常計測、積算計測、ラップ／スプリット計測
時速計算、ラップ／スプリットタイムメモリー（10本まで）
目標ラップタイムセット、目標ラップタイム報知
アラーム機能：時刻アラーム　セット単位＝分　電子音＝20秒間
時報　毎正時に2回電子音で報時
その他：自動復帰機能、12/24時間制表示切り替え、ELバックライト、オートライト機能
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子、ワンチップCMOS-LSI
使用電池：CR-2016（電池別途販売）
※電池はカシオ指定のものをご使用ください。
電池寿命：約2年（1日あたりライト10秒間、および電子音を20秒間使用した場合）
※ライトの使用条件により電池寿命が短くなることがあります。
1日あたり、ライト20秒間使用→約1.4年／ライト30秒間使用→約1年

表示照明用ELバックライトについて

本機の表示部にはELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）が内蔵されており、暗いときに表示を明るくして見ることができます。また、時計を傾けるだけで文字板が発光するオートライト機能もあります。

●ボタンを押して発光させる～手動発光～

Ⓐボタンを押します



→どのモード（表示）のときでも、文字板にあるELパネルが約2秒間発光します。

※ELパネル発光中にⒶボタンを押すと、その時点から引き続き約2秒間発光します。ただし、Ⓐボタンを1～2分押し続けるとその時点で発光が消えます。

※オートライトOFF（“ ✥ ”不点灯）のときもⒶボタンを押すと発光します。

●時計を傾けて発光させる～自動発光（オートライト）～

オートライトは、ボタンを押さなくても文字板が発光する便利な機能です。
暗い場所で時刻やストップウオッチの計測値などを見るときに大変便利です。

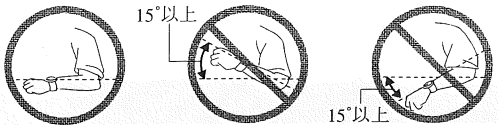
準備　時刻・カレンダーモードのときにⓁボタンを約1秒間押して、“ ✥ ”を点灯させて「オートライトON」にします。
※もう一度Ⓛボタンを約1秒間押すと“ ✥ ”が消え、「オートライトOFF」になります。



文字板を発光させる



※オートライト機能を使用するときは、時計が「手首の外側」にくるようにつけてください。
※このとき、文字板の左右（3時－9時方向）の角度を±15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると発光しにくくなります。



＜オートライトご使用時の注意＞

●オートライトが作動するのは、“ ✥ ”を点灯させてから約3時間です。それ以降は電池消耗防止のため、自動的に“ ✥ ”が消え、オートライトOFFになります。
※引き続きオートライトを作動させたいときは、再度Ⓛボタンを約1秒間押して、“ ✥ ”を点灯させてください。ただし、オートライトを頻繁に使用すると電池寿命が短くなりますのでご注意ください。
●時計を傾けたとき、文字板の発光が一瞬遅れることがありますが異常ではありません。
●文字板発光後、時計を傾けたままにしておいても、発光は約2秒間のみとなります。
●時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上にあげたりしても発光することがあります。オートライトを使用しないときはOFFにしておいてください。
※時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトをOFFにしてご使用ください。
●静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、発光しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも発光しにくいときは、腕を下からふりあげてみると、発光しやすくなります。

＜EL発光についての注意事項＞

●直射日光下では、発光が見えにくくなります。
●発光中にいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと発光を中断します。
●発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

ストップウオッチの使い方

時刻・カレンダーモードのときにⓒボタンを1回押してストップウオッチモードにします。

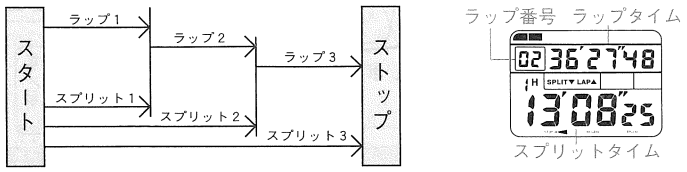
■特長

●ラップ／スプリット計測、および計測値メモリー

本機のストップウオッチは、1/100秒単位で9時間59分59秒99（10時間計）まで計測できます。また、ラップ／スプリット計測を行なうとそのときのタイムを最大10本まで記憶し、記憶したタイムはリコールモードで簡単に見ることができます。

ラップタイム・スプリットタイムとは

★ラップタイム…任意の区間を進むのに要する時間
例）陸上、モータースポーツなどの周回競技での1周あたりのタイム
★スプリットタイム…スタート地点から任意の地点までの経過時間
例）マラソンの10km地点まで走ったときのタイム



計測範囲～ラップタイム（上段に表示）＝59分59秒99　ラップ数＝99回
スプリットタイム（下段に表示）＝9時間59分59秒99
※計測範囲を超えると、以後0に戻って繰り返し計測を続けます。

●目標ラップタイムの設定～「残り時間」表示～

周回競技などでの1周分のタイムを「目標ラップタイム」として設定しておくと、計測開始後、目標ラップタイムまでの「残り時間」を表示しますので、計測中にペースの確認ができます。

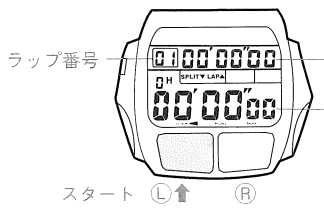
●ラップタイムごとの時速計算（リコールモード）

ラップタイムと区間距離*から、1周ごとの平均時速を算出／表示しますので、どの位の速さで進んだかがわかります。
*区間距離＝陸上、モータースポーツなどの周回競技での1周分の距離

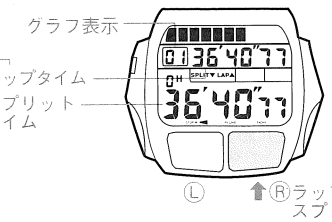
■ストップウオッチ計測のしかた

●計測開始 → ●ラップ／スプリットタイム計測 → ●計測終了

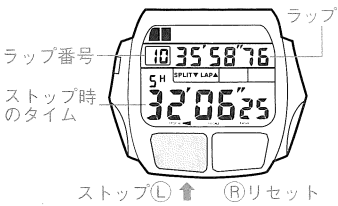
Ⓛボタンを押します



Ⓡボタンを押します



Ⓛボタンを押します



→計測が停止し、終了時のラップ／スプリットタイムを記憶します。

（計測値を“0”に戻すには、計測終了後に、Ⓡボタンを押します。）

上段にラップタイム、下段にスプリットタイムを表示します。
※目標ラップタイムを設定しているときは、下段に「残り時間（1/10秒単位）」を表示します。
また、計測値に連動して、グラフ表示部が点灯／消灯を繰り返します

Ⓡボタンを押したときのタイムを6～7秒間表示し、記憶します。（内部では計測を続けています）
以後、Ⓡボタンを押すごとにラップ／スプリットタイムを計測・記憶していきます。

★ラップ／スプリットタイムのメモリーについて
・ラップ／スプリットタイムは最大10本*まで記憶でき、記憶したタイムはリコールモードで見ることができます。（「計測したデータを見る」参照）
*記憶できるのは、計測開始後9本までのタイム、および計測終了時のタイムとなり、10本目から計測終了前までのラップ／スプリットタイムは記憶されません。
・目標ラップタイムを設定し、「残り時間」表示となっているときもスプリットタイムを記憶します。
・計測値を“0”に戻してから、新しい計測を始めると、前回記憶したタイムはすべて消されます。

■計測時のボタン操作

●通常計測

Ⓛ スタート → Ⓛ ストップ → Ⓡ リセット

※積算計測…ロスタイムのある場合は、ストップ後リセットせずにⓁボタンを押して再スタートすれば表示タイムに引き続き計測を始めます。

●ラップ／スプリットタイム計測

Ⓛ スタート → Ⓡ ラップ／スプリット → Ⓡ ラップ／スプリット → Ⓛ ストップ → Ⓡ リセット

※計測中にⓒボタンを押してリコールモードに切り替え、メモリーしたタイムを見ることができます。（「■計測したデータを見る」参照）

■目標ラップタイムを設定する

周回競技などで、ペースの確認をしながら計測したいときは、あらかじめ1周あたりのタイムを「目標ラップタイム」として設定し、時計にセットします。
※目標ラップタイムは、00'00"0～59'59"9の範囲内で1/10秒単位でセットできます。

●「目標ラップタイム」をセットする

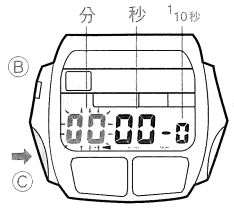
ストップウオッチ計測中は、目標ラップタイムのセットはできません。
このときは、ストップウオッチモードでⓁボタンを押し、計測を終了させてから以下の操作を行なってください。

(1) セット表示にする

ストップウオッチモードのとき、Ⓑボタンを押します →目標ラップタイムの「分」が点滅し、セット表示となります。

(2) セット箇所を選ぶ

Ⓒボタンを押します

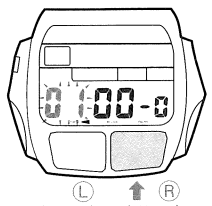


Ⓒボタンを押すごとにセット箇所（点滅表示）が「分→秒→1/10秒」の順で移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。

(3) 数値セット

セットしたい箇所が点滅しているとき、

ⓇボタンまたはⓁを押します



→数字を進めるときはⓇボタン、戻すときはⓁボタンを押します。
いずれも押し続けると早く進み（戻り）ます。

(2)～(3) の操作をくりかえして目標ラップタイムをセットします。

★「目標ラップタイム」を設定しないときは
セット表示のときに、Ⓡ・Ⓛボタンを同時に押して目標ラップタイムを“00'00"-0”にしておきます。

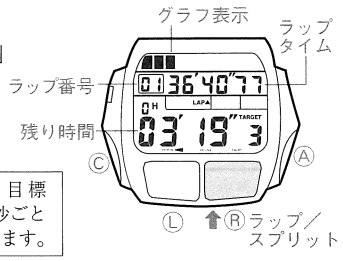
(4) すべてのセットが終わりましたら、

Ⓑボタンを押します →点滅が止まり、セット完了です。

※セット表示のまま2～3分経過すると、自動的に点滅が止まり、ストップウオッチモードの表示に戻ります。

●「目標ラップタイム」をセットしておくと

ストップウオッチ計測中、下段に目標ラップタイムまでの「残り時間」を1/10秒単位で表示します。
※ラップ／スプリット操作をするごと（1周ごと）にセットした「目標ラップタイム」の減算を繰り返します。



目標ラップタイムの10秒前から、目標ラップタイムの残り時間に合わせて1秒ごとにグラフ表示部が1つずつ右から消灯します。

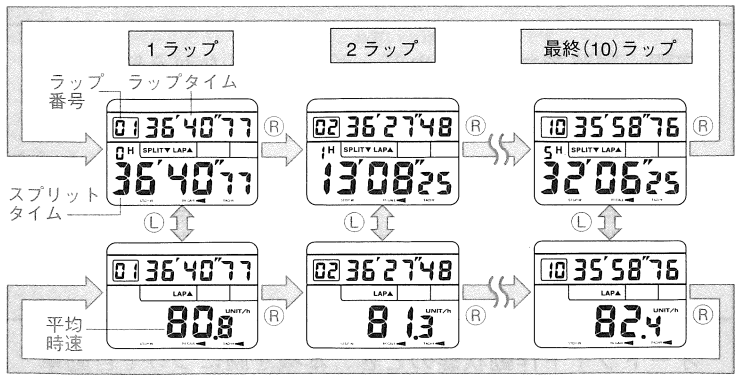
●目標ラップタイムになると10秒間電子音が鳴り、目標ラップタイムになったことを知らせます。
※このときの報音を止めるには、Ⓐ・Ⓒボタンのどちらか1つを押します。

●目標ラップタイムを過ぎると、その時点からの「経過時間」を1／10秒単位で表示します。また、グラフ表示部は目標ラップタイムを過ぎてからの10秒間は1秒ごとに1つずつ、左から点灯します。

■計測したデータを見る

時刻・カレンダーモードのとき、Ⓒボタンを2回押してリコールモードにします。

→リコールモードに切り替えると、ラップ番号1のタイムが表示されます。
以後、Ⓡボタンを押すごとに順番にタイムを表示します。
Ⓛボタンを押すごとに、下段表示がスプリットタイムと平均時速とで切り替わります。



※リコールモードで見ることができるのは、ストップウオッチ計測中にラップ／スプリット計測または計測終了の操作を行なったタイムのみ（最大10本）となります。なお、ラップ数が10本以下のとき、計測されていないラップ数の表示は上段、下段とも「00'00"00」となります。
※正しい時速値を出すには、あらかじめ「区間距離」をセットしておいてください。

●「区間距離」をセットする

時速表示を正しく表示させるには、あらかじめ区間距離（周回距離での1周あたりの距離）をセットしておきます。
※本機では0.0～999.9の範囲内で0.1単位でセットできます。

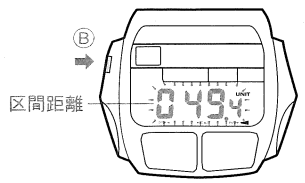
“UNIT”について

本機で表示する距離、速度の単位は、キロメートル（km）、メートル（m）、マイル（mile）など、いずれの場合でも使用できるように“UNIT”としています。距離をキロメートルでセットしたときの速度は“km/h”となり、マイルでセットしたときは“mph”となります。

(1) リコールモードのとき、

Ⓑボタンを押します

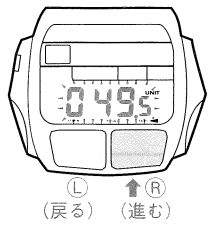
→区間距離が点滅します。



(2) 区間距離セット

ⓇボタンまたはⓁを押します

→Ⓡボタンを押すごとに数字が0.1ずつ進み、Ⓛボタンを押すごとに戻ります。いずれも押し続けると早く進み（戻り）ます。
※Ⓡ・Ⓛボタンを同時に押すと、区間距離は“000.0”となります。



(3) セットが終わりましたら、

Ⓑボタンを押します →点滅が止まり、セット完了です。

※セット表示のまま2～3分経過すると、自動的に点滅が止まりリコールモードの表示に戻ります。

＜時速が“---.-”表示となるとき（時速表示エラー）＞
以下の場合は、正しく時速計算ができず、“---.-”表示となります。
・1ラップ目計測中で、ラップタイムが記憶されていないとき
・ストップウオッチの計測範囲（ラップタイム＝59'59"99、およびスプリットタイム＝9:59'59"99）を超えたとき
・速度の計算結果が999.9を超えたとき